

# ふれあい意見交換会

日 時 令和5年11月13日

午後7時～8時48分

場 所 中央公民館 泊分館

○浜中議会運営委員会委員長 皆さんこんばんは。時間となりましたので始めていき  
たいと思います。

本日は令和5年度住民と議会との意見交換会「ふれあい意見交換会」をご案内いた  
しましたところ大変お忙しい中、また寒くなりました。寒い中ですがこのように多  
数出席いただきまして誠にありがとうございます。

この「ふれあい意見交換会」ですが、コロナの影響によりまして、3年ぶりの開催  
となりました。本日このように開催することができ、皆さんと直接お話をできること  
を心から嬉しく思っているところであります。

私、本日司会を担当いたします、議会運営委員会委員長を務めております、浜中で  
ございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この「ふれあい意見交換会」は町議会が町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、町の発  
展と幸せを追求するために貴重な機会であります。私たちの活動は皆さんの声なくし  
ては成り立ちません。だからこそ、このような「ふれあい意見交換会」が重要であ  
り、私たちにとっても大切な場となっております。

どうぞ皆さんのご意見やご要望をお聞きし、それを議会で真剣に検討して執行部等  
にお伝えし、実現に向けた努力をし続けていきたいと考えております。この「ふれあ  
い意見交換会」ですけど、参加していただいた皆さん、全ての方の顔が見える机の形  
の配置といたしました。以前来られた方はご存じだと思いますが、以前は横に対面式  
でやっておったところでもありますけど、皆さんの交流も大切にしていきながら進めて  
いきたいと思いますので、どうぞお気軽にご意見やご要望をお伝えしていただければ  
と思います。限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、議会だよりに掲載するなどのため、会場内の写真撮影や動画撮影を行いま  
す。ご了解ご協力をお願いしたいと思います。

それでは開会にあたりまして、河田議長がご挨拶を申し上げます。

○河田議長 皆さんこんばんは。5月より議長を拝命しております、河田でございま  
す。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

今、議運の委員長からもございました。「ふれあい意見交換会」ということでご案内をさせていただきましたところ、朝からあられが混じるような悪天候でとても寒い日となりましたが、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今、議運の委員長から説明がございましたが、3年ぶりの開催ということになりまして、少しずつ意見交換会も内容を変えて、皆さん出席しやすい形にしていってらなというような意見の中で今回こういう形で机を丸くさせていただきました。顔も見やすいですし改まった雰囲気ではなく、ざっくばらんに意見を出していただくような形をとりたいなということで、こういう席を設けさせていただきました。

それから、ふれあい交換会というこの名前もですけど、以前は住民と議会との意見交換会というようなちょっと硬い名前でしたが、これもちょっと柔らかみをつけて、こういった名前にさせていただいたということで、会の内容自体は今回は従来通りの議会から説明申し上げまして、その後から皆さんのご意見を伺うというような従来の流れを今回は取らせていただきましたが、また来年以降はそういった内容につきましても皆さんご出席しやすい形、ご意見を出しやすい形で少しずつ変えていこうかなというような思いでもおります。

また、本日は限られた時間になりますが、どうぞ屈託のないご意見を出していただきまして、充実した会となりますことをお願いしまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

○**浜中議会運営委員会委員長** それでは初めに、こういった場に来るのが久しぶりでありますし、初めての議員もおります。欠員1名で、全員で11名ですけど、本日所用があって欠席の議員もおります。10名の議員が本日出席しております。自己紹介から始めたいと思います。河田議長から順番に。

○**河田議長** 改めまして河田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**磯江副議長** こんにちは。副議長の磯江でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**松岡総務産業常任委員会委員長** 皆さんこんにちは。総務産業常任委員長を拝命しております、松岡でございます。よろしくお願いいたします。

○**米田教育民生常任委員会委員長** こんにちは。教育民生常任委員会の委員長を拝命してます、米田です。よろしくお願いいたします。

○**中森議会広報常任委員会委員長** お世話になります。議会広報常任委員会の中森と申します。今日はよろしくお願いいたします。

○寺地議会運営委員会副委員長　こんばんは。議会運営委員会副委員長の寺地です。どうぞよろしくお願いします。

○信原総務産業常任委員会副委員長　こんばんは。総務産業常任委員会の副委員長をさせていただきます信原といいます。よろしくお願いします。

○増井教育民生常任委員会副委員長　皆さんこんばんは。教育民生常任委員会の副委員長をしております、増井と申します。よろしくお願いいたします。

○小川教育民生常任委員会副委員長　皆さんこんばんは。議会広報常任委員会副委員長の小川遊と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○浜中議会運営委員会委員長　最後になりますが、議会運営委員会委員長を勤めております、浜中でございます。どうぞよろしくお願いします。

以上のようなメンバーで進めていきたいと思いますが、議会事務局も2人来ておりますので、紹介しておきたいと思います。

○杉原議会事務局長　杉原と申します。この4月から議会事務局の方に配置換えとなりました。初めてなものですからバタバタした状況で皆さんにご迷惑かけるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

○岡本主事　同じく4月から議会事務局に配属になりました岡本と申します。よろしくをお願いします。

## （１）議会報告について

○浜中議会運営委員会委員長　どうぞよろしくお願いします。

そういたしますと、日程に従いまして進めていきたいと思います。初めに日程報告と資料の説明を議会運営委員会寺地副委員長より行っていただきます。

○寺地議会運営委員会副委員長　皆さん大変ご苦勞様でございます。それでは日程説明を行いたいと思います。まず資料の確認でございますが、お手元に配付してございますのは、本日の意見交換会のリーフレット、それから委員会報告に使用します資料、また、議会行政に対します意見、提言の用紙、町議会の活動状況をまとめた概要の4部を配布しております。不足がございましたらお知らせをいただきたいと思います。

議会行政に対します意見、提言の用紙がございますが、これにつきましては本日、質問発言等できなかった事項意見等がございましたらご記入いただきまして、お帰りの際に受付に箱を設けております。そちらに入れていただければと思っております。

本日ご記入できなかった方につきましては、後日でも議会事務局に届けていただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、いただいたご意見等は役場担当課に確認の上、回答を付して議会広報等でご紹介させていただきますので、ご了解いただきたいと思います。本日この後の日程でございますが、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会、議会広報常任委員会からそれぞれ10分程度資料によりまして、委員会報告を行います。

終わりましたら、これらにつきましてまとめて皆さんから質問、ご意見等をお受けしたいと思っております。進行につきましては、磯江副議長が行います。また、そののち、その他皆さんが日頃考えておられます議会、行政への意見、提言など意見交換を予定しております。進行につきましては、浜中議会運営委員会委員長が行います。本日の会議の終了時間、一応20時30分をめどに進めさせていただきたいと思いますが、柔軟に対応していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○浜中議会運営委員会委員長 そういたしますと、議会報告会の方へ移ってまいりたいと思えます。司会を磯江副議長に交代したいと思います。

○磯江副議長 副議長の磯江です。それでは日程に従いまして、まず議会報告ということで、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会、そして議会広報常任委員会、この3委員会から皆様のお手元に資料も置いておりますけれども、その内容についてご説明をさせていただき、ご報告をさせていただきたいと思えますどうぞよろしくお願い致します。それでは最初に総務産業常任委員会からお願いします。

## ①総務産業常任委員会

○松岡総務産業常任委員会委員長 それでは総務産業常任委員会から説明をさせていただきます。資料を1ページを開いていただけないでしょうか。

最初に町道泊中央線災害復旧事業ということで説明をさせていただきます。泊の皆様にはよくご承知の話だろうと思えますけどもこの事業から説明をさせていただきたいと思えます。令和3年7月の七夕豪雨で土砂崩れが発生いたしまして、当初は災害復旧事業で対応を考えておりましたが、地滑りが起きているということで、地滑り対策の事業で向かうこととなり現在も調査を行っているところでございます。しかし今年の7月に設置しました伸縮計が動いたことからさらに調査が必要となっており、工事着手が遅れているところでございます。今後調査結果を待って、6年度から本工事

に着手を予定しております。資料の確認をお願いいたします。左側が平面図、それから右側の上の方が標準断面図ということで出しておりますけども、ちょっとそちらを見ていただきたいと思います。最初に平面図上の扇形の赤の実線っていうのがありますけども、これが地滑り内の地下水の上昇を抑制する水抜き横ボーリング暗渠排水ですね。標準断面図の中では、中心から右側に細い線が赤い線が伸びております。これが横向きボーリングの線でございます。これについては、地域の安全性を考慮して応急工事として、12月から先行実施することになっております。

それから、平面図の真ん中の赤い小さな丸で囲ったところが27ヶ所あります。これが地滑りの変動を抑えるための鋼管杭です。標準断面図では、真ん中のところから下に赤い縦線が伸びております。それが鋼管杭を表しております。それから平面図の赤線の網の目のようになって表示してあるところがあります。これは平面の緩みを抑えるためののり面工であります。なお、7月13日に設置いたしました伸縮計、これは赤い二重丸がしてあります。見にくいんですけども、5ヶ所に設置しておりますけども、滑った面と滑らない面をつないでいる測定器ですけどもこれがその表面の土砂の動きを感知したということで、現在、原因を解明中であります。その結果をもって今後、国と再度協議や災害査定を行う予定であります。それで今後のスケジュールは、下に書いておりますけども、工事実施は令和6年4月から実施予定でございます、それができれば6年度中に完成見込みだというところでございます。それで事業の審議の中で平成10年の地滑りのときとの対策は、鋼管杭が違うぐらいであまり変わらないのではないかという意見が出ておりましたが、鋼管杭を27本、支持層までしっかり打ち込んでいるので、滑りを止めることになる。また、横ボーリングで土中の排水がきちんとできるということで、前回とは大きな違いがあるという説明がありました。

続きまして、松崎地区内水対策事業ということで、資料としては2、3、4ページがありますけど、2ページをとりあえず見ていただきたいと思います。これは新町川ポンプ場についてでございます。設置場所は湯梨浜町の旭、「ぱにーに」という洋菓子屋があると思いますけどそれが白い屋根の建物ですね、それが「ぱにーに」なんですけども、この横に町営でポンプ場を設置し、その左側の新町川に、県が水門を設置するというものでございます。それで工事着手に当たっては。作業スペースなどの関係もありまして、県の水門工事と町のポンプ場が同時着工ができないため、県事業を先に実施するというものでございます。

それから3ページを見ていただきたいと思います。3ページが内水排水の仕組みでありますが、洪水時に水位が上昇した場合には、新町川の流域が浸水いたしますので、新町川の水門を閉めて、水門の住居側の水をポンプで東郷池に排水をするというものでございます。ポンプ排水により新町川の水位が下がるとポンプは止まって水門は東郷池の水位が下がるまで閉めておきます。東郷池の水位が75センチになると、ポンプ1台が稼働し、85センチになれば2台稼働をするというものでございます。

それから4ページをご覧ください。今後の整備スケジュールでございますけれども、ご承知のように半導体不足が続いておるということで、出水期6月から10月までの出水期は工事をやらないということでございますので、完成は7年度末になる見込みでございます。それでこの事業を検討するときに出ました質問として、工事期間が2年ぐらいかかるんだけどその間に出水期は必ず来るんだけど、仮設水路のことが一つも書いてないんだけど大丈夫かというような質問が出ております。新町川、県事業で町のポンプ場予定地に仮設の水路を作るようになっておりますけれども、その出水期になると流れを元に戻すということで、そこに仮設でポンプをつけて流すようなことは考えていないということでございました。

それから最後に、旧北溟中学校跡地利用についてということで、資料は5ページから9ページをつけておりますけど、とりあえず9ページの旧北溟中学校の平面図を見ていただきたいと思います。旧北溟中学校の跡地でございます。中央部にピンク色の南北の町道が入ります。そして右側のピンクの線の内側に褐色の歩道を整備をするということになっております。それで右側の図の真ん中の辺が旧北溟中の体育館でございます。そしてその下に、今後たじりこども園を整備をするということになっております。それで旧北溟中の跡地利用に係る民間提案募集要項っていうのを作っております。もう既に出ておるんですけども、それで募集する区画っていうのは左側です。前に野球場や陸上競技場があった①の西側というところと、それからプールのあった②北溟体育館の北側、そして③ということで旧羽合体育館の3区画を募集をするということでございます。

以下5ページから8ページの募集要項の内容を説明いたしますけれども、この平面図をご覧ください。おいていただいて、また詳細は後で確認をお願いいたします。それで対象用地は、購入または賃貸借のいずれかです。なお賃貸借の場合は期間は10年以上とし、最長で40年です。売買基準価格は①の西側は平米当たり単価1万2,600

0円。そして②北溟体育館北側、③羽合体育館が1万円です。貸付につきましては、西側が全額平米当たり516円。そして2番、3番は408円となっております。なお西側区画が大きいということで、この区画については南北で均等に2分割したうち、1区画を使う提案も可能であります。今後のスケジュールでございますけども、募集期限は令和6年1月25日までとして、それ以降審査等を行って、来年6月の議会承認、契約の締結をめどに手続きを進めていきたいということでございます。それで議案の審議の中で出ておりましたことは、その跡地への誘致をどうやって進めていくんだという話が出ておりました。それで執行部からは1回目の募集をやってみて、こちらが期待するような企業が最終的になかったことから、県外事務所の情報を捕まえて、こちらが乗り込んでいくような方法で企業を捕まえていきたいということでございました。それで現在、今、会社名は出せないんですけども、精密機械の工場が考えておられるようだというような情報も入ってきてるんで、そこと接触をしておるといふようでございます。それからもう一つ場所的に優れた場所、物件と思うので、焦って誘致することが良いのだろうか、という質問が出ております。執行部から県産業機構の理事長と話をしたときに、これを慌てて売ったりしない方が良いと。これだけの大きさならじっくりと考える方が良いのではないかという助言がありまして、そういうことをずっと頭の中に置いて取り組んでいるというような回答がありました。以上です。

## ②教育民生常任委員会

○米田教育民生常任委員会委員長 続きまして、教育民生常任委員会の方から報告は2点であります。

資料はまず10ページを見ていただけますか。最初の報告はみんなのげんき館事業経過と課題についてということで、皆様よくご存じだと思ってですが、泊分館ができたときにトレーニングができる施設ということで、みんなのげんき館ができたんですけど、今回この経過と課題についてということで、このげんき館は、この下にあるげんき館とはまた別に取り組むということでありました。ここに載せておるのが、令和5年3月定例議会の予算特別委員会といって、予算について審議する会があったんですけど、その中で、湯梨浜みんなのげんき館事業ということで6,500万円余りが計上されておりました。それで、泊分館ができたばかりなのに、まだこの計上があるのはどういうことでしょうかということ、議員から質問がありまして、執

行部からは高齢者向けのフレイル対策として、また新たに作りたいというようなことがあったんですけど、その当時の教育民生常任委員会委員から、この事業について説明を受けてないというようなことがありました。とりあえずは、この一般会計の予算については、承認をしたんですけど、みんなのげんき館事業については附帯決議ということでここに書いて載せておるんですけど、中頃からちょっと読ましていただきますね。「開設場所として「保健福祉センターつわぶき荘」内を予定しており、フレイル対策を柱とする社会福祉協議会を含めた構想と認められるが、この経過について議会と十分な協議がなく唐突に計画され予算計上されたものである。この事業構想については、議会と議論を深め細部に渡って段階を踏んで町民に対しても納得がいく説明ができる状態になるまで、再検討を含め予算の執行を見送るべきだと判断した」という附帯決議をつけております。その後、執行部からどのようにするということの説明がなかったんですけど、今年の9月定例議会の中で、交付金などの財源確保が困難であるため、本年度の事業は無理だと判断しましたという報告がありました。

それで議員の委員会で何点か質問してるんですけど、書いてあるように、今回の計画は地元の要望であったのでしょうかということで、地元の要望ではなくあくまでも高齢者のフレイル対策を進めようと計画したものであるということで、代わりの事業を検討するのかということですけど、今年度では、予算を含め事業取り下げ、新たに再検討をしたいということでありました。介護予防であれば、公民館事業でする必要がないのではということで、今までは公民館ということで、教育委員会が担当しておったんですけど、介護予防、フレイル対策であればそちらじゃなくて別のところで担当していくのもいいんじゃないかというような意見が出ました。そういうことで今回全く白紙になって、これからどの課が担当するかとか、そののどこからもゼロからスタートするってということでこの事業は白紙になっております。以上です。

次が、11ページが資料ですけど、放課後児童クラブの民間委託による改善と課題についてであります。放課後児童クラブ、去年、一昨年なるんですかね。年末に執行部から提案がありまして、支援員さんが高齢の方とかいろいろ事情があって、辞められる方があるので、運営していくのがすごく大変だ、困難だということで民間に委託をしたいということがありました。次のページにあるんですけど、この「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」が、北栄町で放課後児童クラブの委託を受けてやっておるんですけど、こことあともう1、2ヶ所のプレゼンがありまして、実



績のあるこの「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」が委託を受けました。

放課後児童クラブは、羽合が第1、第2、東郷が第1、第2で、泊が泊小学校の1ヶ所ということで、全部で町内には5ヶ所の放課後児童クラブがあります。この委託が、表の右から2番目のとこですけれど、5ヶ所全部で年間、5,220万円の委託費用がかかっております。成果および評価についてで執行部から出ておるのが、民間事業者の委託により支援員の確保状況が改善し、運営の安定化が図れましたということであります。また、サービスも向上したということで、安心して児童が過ごせる居場所の提供に向け、体制が充実したものと考えておるということです。

課題ですけれど、施設規模に対して利用児童数が多く過密な状態にあるクラブの対応法について、施設の拡充や申し込み制限などの方法を課内で検討しますってことで、利用人数が全部で257人ということで、現在湯梨浜町では学年での制限はつけてないんですね。他所の方では小学校4年生までしか受け入れないとかっていうことがあるんですけど、湯梨浜町では1年から6年生まで、全員申し込みがあれば受けるというような方向であるので、利用人数がたくさんになっておるということです。支援員等の関係でその辺をまた検討していく必要があるっていうことなんですけど、その辺のところはどのように進めていくんでしょうかっていうことで議会から問い合わせしたんですけれど、今まですぐすぐには困る状況ではないので、しっかり時間かけて、今後、放課後児童クラブをどのように運営していくのかっていうことを検討していきたいというような状況であります。以上で報告を終わります。

### ③議会広報常任委員会

○中森議会広報常任委員会委員長 そうしましたら、議会広報常任委員会より主に議会広報の説明をしていきたいと思います。

まず議会広報常任委員会ってというのはどういうものかっていうのをあまりご存じない方もいらっしゃるかもしれませんので、資料の14ページ下側にプロフィールってところで委員会の目的を書かせていただいています。議会だよりの編集、広報の実施に関することについてということで、議長以外の議員全てが委員会メンバーとなっております。顔写真も隣の15ページに載せさせていただいています。

今回の意見交換会での、こちらのお話するところというと、議会だよりクリニック報告ってのが16ページにあるんですけども、議会だよりクリニック報告、改善

点①町民インタビュー、改善点②委員会動画の「Y o u T u b e 化」、で最後は視察を最近してきましたのでその視察の報告をさせていただきます。

16ページの下のスライドにいきたいと思うんですけども、議会だよりクリニック報告っていうのはどういうものかっていうことなんですけれども、年に1回、議会だよりを有識者の方に講評いただいて改善していくっていうものがあります。それに私たちも出させていただいて、その講評の報告っていうのをちょっとさせていただけたらと思います。

17ページの上のスライドなんですけれども、県下の町村の議会で皆さん出されている議会だよりを評価していただいて、湯梨浜町の評価としては、本文の見出しだったり、小見出しだったりとか、そういう要点が整理されていて読みやすいと、大変良い評価をいただきました。最近の議会だよりのスタイルとしては、やはりそういう議会の活動を外にどんどん出していくっていうものと同時に、住民の方の意見を議会にどう取り入れてくるのかということも進めていかないといけないポイントでありまして、その点B A Dのところにもちょっと書いてるんですけども、住民の声や意見の取り方に関して、もう少し工夫をされてはどうかという評価をいただいています。なのでちょっと湯梨浜町議会としてはその点についてどんどん住民の声を取り入れていくような企画っていうのをしていけないといけないなと私自身も思っております。

そうしまして、どう変えていくかっていうところで、改善できるところはどんどんしていこうというところで、18ページの上のところの町民インタビューっていうのが、議会だよりの裏表紙のところにあるんですけども、以前も町民インタビュー自体はしているんですけども、どちらかというところと原稿を書いていただいてそれをそのまま載せるっていうスタイルだったんですけども、せっかく町民インタビューという名前がありますので実際に町民の活動、主に本当に湯梨浜町のためになるような活動されてる町民の方が多いので、ちゃんとそちらに足を運んで写真も撮らせていただいてそれを表紙に使ったりとか、そういう形で何とか町民の声っていうのを取り上げていくような形でちょっと改善をしてきました。関連があるかもしれないですけども、町政に踏み込んだコメントもちょっとずついただけるようになったのかなって思います。ちょっと読みづらいですけどまた議会だよりも手に取って裏表紙も見ただけならなと思います。

次に下のスライドで改善点②委員会動画の「Y o u T u b e 化」っていうところになっていきます。隣のページの19ページの上のスライドなんですけれども、委員会

ってというのが、議会とは別に先ほど2つの常任委員会から説明がありましたけれども、それとあと全員協議会という会がありまして、そちらで協議した内容は実は湯梨浜町のホームページにアップされていて、一応見れる形にはなってます。ただ、現在、令和4年9月のもので止まっています。そこにはパソコンの故障だったりとか再生のスライドの一番左側のスマホなどでは動画が再生できないといった、何かシステムトラブルが原因でちょっと公開ができていませんでした。また、その動画の公開ということも、遅くて情報が古いつても言われてきました。大体、例えば9月に委員会が行われたら3ヶ月後だったりとか、結構時間がかかって、それだともう話し合った内容がそもそも、そこまで重要性がなくなってしまうたりとかそういうことが起こっていました。その原因としてはその一番右のところなんですけど動画のアップロード自体、事務局プラス執行部の担当課が複数に渡るので、その事務手続きが増えてしまって、これも町職員の負担になると同時に時間的にもかかってしまうということが、これまで起こってました。なので、委員会としてはそこをちょっと改善したいなと思ってまして最近ネットで動画を見ると言えば「YouTube」というのが結構主流だと思うんですけども、その「YouTube」を使って委員会動画を配信していこうとちょっと動いております。ただ時間的に長い動画なのでこちちょっと見づらいかもしれないんですけども、その数字が「00:00」とか「05:35」と書かれてるように、見たいところを押せばそこにすぐ飛べるような形で見れるようにしたりとか、配布資料がPDFである場合はPDFもそこに付けて、どういう議案の内容かっていうのが分かるようにちょっと整備していこうと考えております。ここはちょっと皆さんが見やすいように改善していけたらと思っております。

20ページに続きまして、10月の末、11月の初旬で視察に行ってきました。一つ目は町田市議会というところで、二つ目は東村山市議会というところに行ってきました。

町田市議会では、高校生と議員の意見交換会というのをやっていました。先ほど議会だよりでもありましたけれども、なかなか町民の声を拾えてないというところで自ら足を運んだりとか来ていただくみたいな形で、どう町田市議会が取り組んでいるのかっていうのをお話を聞きに行きました。

目的としては町田市議会としては、議会に関心を持つ若者を増やすっていうところが一つの目的で、そのやり方としてはワークショップ形式で高校生と議員が話しやすい場を作っていたりとか、実際にどうやって来てくれるのかってなった場合、議員と

か事務局が参加者を募るために学校に直接声をかけたりとか、そういう形で40人と  
か、それぐらいの高校生が来ていただくような、すごい大きなイベントとなっていま  
した。

湯梨浜町でも、行政で湯梨浜若者会議っていうのが、この9月からしているんです  
けれども、あちらの方は政策提言っていうのを一つの最終目的としてするんですけれ  
ども、こちらの町田市議会の意見交換会は、政策提言というよりは議会と高校生の距  
離を縮めるためのイベントっていうふうに捉えています。こういうふうに政策提言だ  
とちょっと重たく感じてしまう高校生でも、議会ってどういうところだろう、議員  
さんってどういう人になってるんだろうっていうのを身近に感じてもらうイベントと  
して議会が行っているということになります。そういうふうにちょっとお手軽ってい  
いますか、距離を縮めるっていうところに重きを置いたイベントだっておっしゃって  
いました。

21ページはもう最後になりますけども、東村山市議会の意見交換会、まさに今や  
っている意見交換会を東村山市議会がどのように行っているのかっていうのを視察して  
来ました。東村山市議会は定例会ごとに報告会をされていて、年に4回とすごく活発  
に意見交換会をされている市議会になります。

内容としては、前半は議会報告、後半は意見交換会とうちと同じような形でしてい  
ます。ただ、議会報告も東村山市議会の方がおっしゃっていたのは、やはり市民に來  
てもらえるように、毎回毎回スタイルを変えてやるっていうふうにおっしゃってまし  
た。その方法もグループワークをやったりとか、外部ファシリテーター。何か隣の市  
議会の議長さんと呼んだりとか、別途NPOの方と呼んだりとか、そういう形でファ  
シリテーターを間に挟んで工夫されているっていうこともすごく活発になる方法の一  
つだとおっしゃっていました。

また今回、湯梨浜町は別にオンラインで配信とかはしてませんけども、東村山市議  
会のところは「Zoom」などを使ってオンライン参加を可能にしたりとか、あと後  
日「YouTube」で見れたりとかそういう形で、来てもらう方はすごく大事な  
んですけども、来ていただけない方、来るのが困難な方っていうのもたくさんいらっし  
やいますので、そういった方が報告会ってどういうところかなとか議会何やってんの  
かなというのを見れたりとか、実際にインターネット上でお話をしたりとか、そうい  
う形の形式をどんどん作っていくっていうところをされていました。

湯梨浜町の今回の議会報告会というのはこういう対面形式でコロナ禍の明けたところの一番最初の会というところで、重要ですけどもこういうふうな市議会のやり方っていうのも見習っていったらなと議会としては話し合っています。

以上で広報常任議会広報常任委員会の報告を終えさせていただきます。

○磯江副議長 はい、ありがとうございます。以上で議会報告3常任委員会の報告を終わりたいと思いますけども、もう10分ぐらいまで、この3つの委員会に関するご質問をいただきたいと思います。そしてその後に、皆様の周辺であるいろんな課題とかに対して、皆さんから意見をいただく時間を作りたいと思いますので、最初は今報告のありました3常任委員会について、質疑とかご意見とかありましたらお受けしたいと思いますのでよろしくお願いします。はい、どうぞ。

○住民 とりあえずみんなのげんき館の話がちょっと気になったんですが、分かんないですよ。私は泊の原のエリアの人間なので、例えば東郷地区とか羽合地区に、そのみんなのフレイル対策の建物が既にあるかどうか分かりません。とりあえず最近泊にできた。その検証とか、これをやって検証もくそもないですよ、まだ年数経ってないですからね。非常にフレイル対策に効果があったとかいう検証もないのにすぐ近くに、すぐ近くのつわぶき荘、つわぶき荘ってそこですよ。あっちははまなすですからね。はまなすになってくれると私は原ですから、通いたいんですけども、要は言いたいのは、ここにはフレイル対策の建物を建てて、ほとんど検証してないのにすぐ近くのところで6,500万円もかけてやられるという発想自体がまず分かんないですわ。それからは交付金の財源の確保が困難っちゅうことは、立ち上げたときに財源もくそも何にも考えてなかったっていうことなんじゃないかな。それもちょっと気になって、そもそもフレイル対策っていうのはどっちかというとお年寄りが要介護にならないような状態のものなので、そんなに6,500万円もかけて建物を建てて来てくださいよっていうようなものでもないのね、簡単な踏み台昇降運動だけでもやっとならば、全然フレイル対策になるんでね、なんかセンスが悪いというか、なんかすごいお金、箱物の建物を作ってね、やっちゃあ、何か1個の対策になるだろう。しかも、もし羽合とか東郷にもなければ、ものすごいコストパフォーマンス、湯梨浜町のエリアの中で見ればここここだけにある。他の地域の人、私はここでもちょっと坂ですから、行かないですよ。なんでそういう議会の方は否決されたんで確保もないのっていうことなので愚痴ですね、別に終わってるんだったら聞かないですけど。

○米田教育民生常任委員会委員長 取りあえずこの分ではよろしいですかね。今おっしゃったように、検証というか、去年できて、報告あった中では、1日平均大体14名の方が利用されてるってことで、利用が少ないってことがあります。今日も来ておられた方にちょっと声をかけたら、三朝から来ておられた方もあるんですけど、それとなかなか町内の方の利用が少ないってことがあるんです。

言われるとおり、まずこのげんき館は、町内ではここが一つですね。そのときにもいろいろ意見があった中では、羽合の人が多いところにも作るべきじゃないかというような意見が議員からもあったりとかしたんですけど、とりあえず今回公民館ができるっていうときに、合わせて作ったということで、このフレイル対策として特化したげんき館を執行部はやりたいっていうことだったんですけど、なかなか通うのが大変だということで、当初の予定では公用車を購入して、予算としては500万円だったんですけど、それで送り迎えをするってような予定でありました。

財源のほうですけど、元々ここで作ったときに、その補助金のなんていうんですかね。年度をまたいだ形で、その補助金があるという予定でこの事業を考えておったんですけど、実際に蓋を開けてみると、予定の2割しか交付金が出ないってことで、全然最初に認識してる部分と違っておったということでね。そういう部分で財源が確保できないってことがありまして、今度また新たに執行部が考えておられたときには、また全然別な交付金、補助金の方を探してくるってようなことになるかと思っております。というようなところでよろしいですかね。

○住民 はい。

○磯江副議長 その他の皆さんで質問とかご意見ございましたらお願いします。

○住民 なければ。

○磯江副議長 はいどうぞ。

○住民 1回他の人に回そうと思ったんですけど。とりあえずこの会がよく分かんない。私区長なもんで、区長文書で回ってきたもんですから来てみようかな区長だしってことで来たんですが。ただ見ると「ふれあい意見交換」ということで、ということはここは区長縛りではなくて一般住民広く参加ですよ。議会の方とほとんど変わらんような人数しか来ないってというのが、これが一つはどうかなと。

当然お仕事で来れないという方がおられるのは当然なもんでね。そういうことで「YouTube」ばっかりのことなんか言われておりましたけれども、どっから言えればいい。取りあえず「YouTube化」するにしても、この19ページみたいな

広い議会で背中ばかり見えとるのはね、1時間見させられても多分みんなすぐ切っちゃうと思うんですよ。それ動画編集の初歩としてはもう全然。こんな画像ばかりが永遠に1時間流れたら誰でもすぐ切っちゃいます。それとせめて顔がアップとか切り替わりとかね、そういうときにはやっぱりそのファシリテーターって言いなっただんですけど、動画編集をある程度やっておられる方とかそのチームワークを組んで、動画が伸びるやり方、まして3ヶ月にいったんとかで誰も見ないです。なんていうか、動画がちゃんとアップする人は下手でも何でも毎日アップすると、やっぱり見る人は毎日行けば何かあると思ってますからね。行っただって3ヶ月ない、もう行きませんよ誰だって。だから「YouTube化」するっていうのは、すりゃあ人が見るわけではないので、「YouTube」自体がもうレッドオーシャンといってもう過密になってますからね。そこでいかに良質なコンテンツが継続的に出せるかどうかですからね。何か動画が出るまでも3ヶ月前のやつがやっと今出ましたってね、それも3ヶ月に1回、誰も見ません。それから背中映したような、動画見せられてもおそらく誰も見ません。これ回るとるカウントが絶対「YouTube」カウントが出ると思えますけどね、どれくらい回ってるかを私は見てみたいんですけれども。

それと別にね、本当はインタビューとかせんでいいんですよ。例えば中国はインタビューしとるかってしてないです。例えば「Amazon」があればね、いっぱい交流してるんで、情報はデジタルで全部集めてんですよ。例えばね、私は「Amazon」の湯梨浜担当ですとか言って来て、何か意見聞かれたことありますか、ないでしょ。あんなことは全然してないんですよ。だけ湯梨浜町も例えば、データを全部、もしネットのプロの方がおられるとすればね、「YouTube」じゃないんですよ。やっぱり今の日本の人口だったら「Twitter」か「Instagram」なのでね、そこからプログラムで全部書き込みとかを全部吸い上げていくんですよ。そうやって、例えばネットにいろんな業界の人がそれに対する商品の批判とかを受けたら、それを改善していくんですよ当然。ですから、その本当は官僚化っていうか民主主義化、最終的にはデジタル民主主義になるんでしょうけれどもね、いろんなことの何か不満とか何とかを全部「Twitter」とか、テキストベース、「YouTube」で言語でテキストで取れるかも知れんですけれどもね。今そうやっていろんなところの意見を吸い上げていちいち聞きに行かない。聞きに行っただってコスト悪いでしょ。1時間に何人聞けます。わざわざ、あなたたちの給料がどれくらい取られてるか分かります。そこら中の時間からね、1時間あたり何人の意見が聞けるんです

か。それを何か1ヶ月か何か議会事務局か何かに任せてね、ようやくそれを広報にして、誰それさんの意見ですって言ったってね、全然分母を代表してないわけですからね。それは果たして適正かどうかというのをまず考えた方がいいです。そうすると、やっぱり集団の、例えば湯梨浜町内の人が一番デジタルで何を使うかっていうのを考えた方が本当はね、そっからデータを吸い上げたほうがより、分母に近いやり方になると思うんでね、そこら辺なんかいろいろこうしたほうがいいんじゃないか、ああしたほうがいいんじゃないか。それと動画なんてチェックなんかしとったって話ならん。今この話とって、特にNGが出んかったら全部流せばいいんです。すぐそんなものは。そんなもんいちいち安全に安全にやって何かこのって言葉がどうだけ全部どうのこうのってやとったたらね、しまいには誰も…。よう言うのは悪名もいいんですよ。バズったらいいんです。悪名でも何でもいいですからね。誰も見てくれるような平穩無事な、背中ばかりの会議見たって誰も見ないです。安全かもしれんけど。それでいいのかなんですよ。少々バズってもいいんで、すぐ流しゃいいんですよ。今日やりましたこれもすぐ流せば。無編集でね、なんなら。なんなら機材何か入れんです。スマホで写真撮って動画撮ってそのままアップすればいいんですよ。それだったら別に手間とかコストとかって考えんでいいわけですからね。

それと僕はもう1個ちょっとこれ議会の方をお願いしたかったのは、IT、ITって言うでしょう。ITは分らん方もおられる。再生ができんとか。私、議会の方をお願いしたいのが、もし全部とは言わんですけど、各公民館に例えば原の公民館だったら放送しますわね。放送するということはあれIP電話ですから、ちょっとやればあれインターネットつながるんですわね。要するに、各公民館をインターネットのハブっていうかルーター使ってつけれるようにしてほしいんですよ。できたら安く、そうするといろんな方が、例えば子ども会とかで日曜日たんびに、そこでいろんなものをつなげてネット環境というか、例えばそういういろんなこと。とにかく例えば避難をしましたなんかであればね、そこから電話が落ちてでもインターネットが繋がりますから、必ずそこにラジオもあれば便利ですけども、集会所に避難しました。そこでいろんな情報というのがハブがあればみんなが見れるわけですからね。そういうやり方というのがあって、役場の方にどんなですか、月会費が要るですわって言われたってね、公民館なんか月に一、二回じゃないですか、使うのはね。なので、できたらただとは言いませんけど格安でインターネット利用ができるようにしていただければね。子どもさんとかの教育の分野、お年寄りのスマホ教室なんかでもいろいろ使えるでし



ようしね。それから避難対策にもなりますし、避難のときの情報、入手のあれにもなりますし、いろんなやり方ができると思うので、そういうのをやっていただければ対コスト的に結構いいのではないかなと。これちょっと全然独断ですが。はいすいませんいろいろ喋って、はい。

○磯江副議長 今、3点ほどご意見がございましてまずこの人数が少ない、もう少し宣伝の仕方があるんじゃないかっていうのが一点。広報について、「Y o u T u b e」とかいろいろあるけども、もう少し皆さんが見れるような形っていうのを工夫した方がいいのではないかと。3点目にちょっと公民館にそういう環境っていうのは、議会としてどうか、これ3点ございましたんでそれらについてちょっと意見をお願いしたいと思います。

○中森議会広報常任委員会委員長 議会広報委員長の中森です。この会自体は議会運営委員会なのでちょっと私の管轄ではないんですけども、人数に関しては本当にやはり町民の人口と比べて参加者はやっぱりそんなに多くないっていうのは多分厳然たる事実なので、そこは増やしていくっていうことは努力していきたいなと思ってます。

それが先ほど言ったオンラインでの参加だったりとか、あと他の自治体でされてるのはやっぱり報告会以外の取り組みっていうのも結構されていて、本当に任意の方にそういう町民会議みたいなそういう形で、結構長いスパンで関わっていただいて、議会についての意見交換だったりとかそういう政策について取り組まれているような議会だったりとかそういうのもあって。

意見交換会で来れるメンバーっていうのはなかなか少ないけれども、他の取り組みでやはり議会と町民の方との接点を持っていくっていう発想ってのはちょっとどんどん他の議会も取り組んでいるので、そういうことも考えてはいかないといけないのかなって視察を通して思っているんで、これはまだ議会の中で調整はできていないんですけども、なのでまずはおっしゃるとおりこの人数を増やしていくところとそれ以外のところで接点を持っていくところも必要かなとちょっと思っております。

真ん中の2点目の「Y o u T u b e」の話で、もう宣伝の話とかそういう話をかなりしていただいたんですけども、まさに本当に背中を向いてるあの映像だけ映っていると見たいっていう人はなかなかいないというのは本当に事実だと思います。常任委員会のその動画っていうのはどちらかというとか速報議事録みたいなそういうところなので、今までが本当に3ヶ月も4ヶ月も遅かったんで、これから逆に言うとそういう

速さだったりとか、そういう見たい方に直接すぐに見れるような形っていうのをまずは整えるっていうのは一つやりたかったことでもありますので、そこはしていく。

ただ「YouTube」だけで見えてくれる人がまずいるのかと。バズったほうがいいと適切なアドバイスもありましたけれども、そういったところは委員会の動画っていうよりはどちらかというと広報向けの動画だったりとかそういうところは本当におっしゃるとおりちょっと工夫してバズれるように頑張っていきたいっていうところではあります。なのでちょっと目的を分けて簡易議事録として整備していくっていうところはちょっとしていけたらいいかなと思ってます。

魅力あるところって「YouTube」以外にも先ほどデータをちゃんと取って町民の方がどういうことを思ってるのかっていうのを解析した方がいいんじゃないかっていう話もありましたけど、それも接点をどう持っていくかっていうところになるのかなと思ってます。あんまりお金も分析する財源とかも特に事務局としては多分ないので、そこはSNSなのか先ほど町民インタビューもあまり、その任意の方の話を聞くというのはマスに対してはそこまで影響力はないんじゃないかって話もありましたけども、意見を聞くっていうことも大事なんですけれども、それ以上に議会が足を運ぶっていう自分たちの態度っていいですか、そういうのを広報じゃなくて公聴という聞くほうもどんどんしていくっていう意気込みもありますので、その点ちょっとインタビューというのはあるっていうところで両方、分析っていうところも接点はSNSだったりとかそういうところでもちつつ、足を運ぶっていう業務両面でちょっと議会としては取り組んでいきたいなと考えております。

○磯江副議長 十分でないかもしれませんが、その他の方もご意見とか質問もあらうかと思います。

○河田議長 補足をちょっとさせていただきますが、この意見交換会、こうやって全体を通して、皆さんの方に集まっていただく意見交換会と、あとは各常任委員会がグループ組織っていうんですかね、例えを挙げますと、農業委員会の農業委員さんと総務産業常任委員会との意見交換会というような形で、議会がそちらに出向いていっての意見交換会ですとか、教育民生常任委員会と民生委員さんの方との意見交換会だとか、過去にも何度かそうやって実施をしてきております。ですから最近コロナの影響でほとんどそういった活動がなかったんですけど、今後そういうことも含めて小さいグループごとに議会から出向いていっての意見交換会も増やしていけたらなというような話も出ております。計画もしておりますので、今後そういう積極的に議会の方が

らも動いていきたいというような予定をしておりますので、補足をさせていただきます。

○浜中議会運営委員会委員長 大変貴重なご意見ありがとうございます。当議会においては意見交換会の実施要綱というのを作っております。各種団体からの申し込みがあれば検討し対応しているところでありますし、今後もそのような対応をしていければと思います。

それと今回区長さんであるとか、その他各種団体の長さんだとかにご案内を出したところです。一般の方にも議会広報を通して、またケーブルテレビもだったかな。今日の何時からありますのでぜひ来てくださいというような案内を出したところですけど、やはり区長さんだとか、そういった団体の方、これまでも来られていた人もあるんですけど、やっぱり大きな問題、課題はその当時、最初の平成24年とかその頃から始まって、第9回目になると思いますけど、中学校の統合問題がありました。その頃はたくさんの方が来られていたような気はしますが、どこの議会の人に聞いても、やはりこの人数が課題だということいろいろ工夫をしながら、今後もまた対応していければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。

○磯江副議長 ということですが、その他の皆さんの方からも質問とかご意見がありましたらお願いしたいと思います。どうぞ。

○住民 よろしく申し上げます。放課後児童クラブのことをちょっと質問です。書いてある各場所の利用人数と職員数書いてあるんですが、課題に利用児童数が多くてということで何かいろいろ書いてあるんですけど、各場所の適正なキャパだとか、職員の数っていうのがこれではちょっと分からないと思いますので、何か課題として挙がっているのであれば、実際はどれぐらいの人数にするべきなのか、職員の数がどれぐらいなのかっていうのが、もうちょっと分かっただけかなと思ったのでちょっと質問させていただきました。職員の数に関しても、26人に対して4名配置されてるところもあれば、41名で3名とか、ちょっと何かそれがどう良いのか悪いのかっていうのをちょっとこれじゃ分かりにくいと思いますので、そのあたりちょっと説明いただけたらと思います。

○米田教育民生常任委員会委員長 適正な人数っていうのが今まではとりあえずでいいんですかね。この人数が適正であるっていうのとしては、1教室大体40人ぐらいっていうことをずっと執行部は言っておりました。それに合わせた形の職員数っていうことで、いろいろ最終的には委託してますんで、シダックスのほうがクラブは何人

ぐらいは必要だとかってということで、調整はしておるということだと理解しておるんですけど、ですから言われるように、東郷第2、26名に対して4名と、泊41名に対し3名がこれがどういうことかというところは、実際に運営する中で、運営していけるってことの人数を配置されてると思うんですけど、実際にこの利用人数も結構幅が広いっていうか、スポ少に行く前のちょっとの間だけ利用するとかってということで、ずっとおられない方を児童数が、この数ではなかなか分かりづらいついていうかね、実際には人数はあるけれど、現実にはあまり長時間利用してなくて、そんなに支援員さんが大変だということはないってというようなところもあったりしてね。この辺の細かいところは申し訳ないですけど、現実のところはわかってないんですけど、今のところは、すぐすぐに課題に対して手を打っていかなくては問題になるところまではいってないって報告はあったんですけど、これからその辺のところも実際に言われるように、どの人数が適正であればその人数で募集を制限するのか、そういうところも考えていくってことが出てくると思うんですけど、まだその辺のところはこれからということであります。

○河田議長 すいませんここに挙がっております利用人数というのは、どうも登録してある児童の人数で、初めから終わりまでこの人数が全部集まってくる状態じゃないそうです。それで今今そんなに焦ってないっていうのは今委員長から説明がありましたように。

○住民 平均って書いてある。登録なら登録じゃないですか。平均ということは平均を取ったわけでしょ。

○住民 多分、泊は50人ぐらい登録しとります。

○河田議長 そういうことですか。説明の中でそういうふうになんて聞いてもね。ごめんなさい。

○中森議会広報常任委員会委員長 そうですね、前教育民生常任委員会にいてそのときに説明聞いてましたので。平均利用人数はそこまで人数としては出てますけども、あの過密って意味ではそこまで重要な指数ではなくて、どちらかというと夏休みの朝だったりとか、そういう局所的に時間帯によってすごい人数が多くなるってところに配置ができるかどうかというのが課題となってます。平日の放課後だったりとかそこまで人数がいらないというときもあるんですけども、ただ夏休みには登録していても放課後、普段来られない方も夏休み利用されるっていう方がいらっしたりして、そこで人数がどんと増えたりと。そこはやっぱり平均の利用人数ではなかなか反

映されないところで、実質その時間帯はすごく人数がいるってということが起こってる。そういったときのタイミングでどうやって職員を増やせれるかっていうところがなかなかやはり難しいというか、そこだけ増やすみたいなのは難しいのでそこをどうするのか、職員を確保していくのかっていうところっていうのがやはり難しいというところで聞いております。

○住民 いや、でもそれは言葉足らずじゃないですか。最初の課題の1行を見て、利用者数が過密な状態にあるクラブへの対応と書いてあるのに夏休みだけの話ですみたいな返答だったもんで。それだったらそれで文章書く。これだったんだから、慢性的に過密的な状態になるクラブへの対応という意味に私は取ったんですけども。

○中森議会広報常任委員会委員長 一応こちらの資料を、この10ページの資料は議員が作った資料で11ページは委員会に町から出された資料になりまして、町はこういうふうに提示してあると。ただ、質問していくと、そこ平均利用人数が問題ではなくて、そういった時間帯だったりとか、そこが問題になってきたっていうところが委員会のやり取りで分かってきたっていう、そこをちょっと報告して、ちょっと今実際の文面とのそごはありますけれども、そういうことだご理解いただければと思います。

○住民 はい、ありがとうございます。はい、あの、多分皆さんが疑問、クエスチョンマークまだいっぱい付いてると思うんですけど、資料として出してるものが他のだから分かんないっていう回答は聞きたくなかったですよね。議会として出されている資料は、こちらはそれと思って見ますので、ちょっとこの放課後児童クラブのことにしましては、本質が見えなかったんで質問したんですけど、もう少し本質が見えるような、文章というか内容を提示された方がいいかなとは思っています。

○米田教育民生常任委員会委員長 はい、ありがとうございます。今後検討していきたいと、検討というかそのようにして頑張っていきますのでよろしくお願いします。

○住民 すいません泊の〇〇です。よろしくお願いします。

私も放課後児童クラブについて質問というかちょっと確認しておきたいんですけども、私の娘が今、放課後児童クラブに通わせていただいて大変感謝しているんですけども、2点について、ここはどうか、どうなってるのかなって思うことがあります。

まず1点目は放課後児童クラブは小学校と違って、急に休む場合でも連絡しなくてもいい。ちょっと遅れる場合でも連絡しなくてもいい状態だと思うんですけど、これ

がどうか。もし高学年になって自分1人で行くような子が、放課後児童クラブに親は行ったつもりになってるのに、あるいは行ってなかったとか、友だちの家に行っちゃったとか、あってはならないですけど誘拐されとったということはないのかな。ちゃんと出欠確認を放課後児童クラブもした方がいいんじゃないかなと思う点と、もう一点は、夏休みは給食を持参します。大体8時までに行かれると思うんですけど、給食は12時に食べるとして、その4時間あるわけです。その給食、ごめんなさい弁当持参で、その弁当の保管場所というか、その衛生状態、特に今年のように猛暑だった場合に弁当が傷まないだろうか。食中毒にならさんだろうかとちょっと心配があったので、その2点を確認させていただければと思います。

○米田教育民生常任委員会委員長 回答は申し訳ないけど今の時点ではできないんで、実際に出欠の確認っていうのが、今まで別なこの放課後児童クラブでないところでね、実際にこども園に来て保護者の方は連れて行ったと思ってるのが、車の中に入ってたとか子どもを置いてしまったりとかっていうそういういろんな事件が起きておるんで、今〇〇さんからあったその部分については、ちょっと確認をしてみたいと思います。

同じく弁当もどのように管理してるかっていうんですかね、それも確認してまたお答えしたいと思うんですけど。

○住民 他の議員さんで分かる方はおられないですか。杉原課長さん去年まで子育て支援課長だったんですけど、去年までの。

○杉原議会事務局長 出欠確認が基本的にはご連絡くださいということで保護者さんには話はしてあると思います。シダックスになってもそのような話はしてると聞いておりました。ですから逆にこども園だったらどうですかっていうような、来られなかった場合に保護者さんに連絡を取ったりというようなことはしてると思うんですけど、今はコドモンで連絡をいつでも入れてもらうようなICTを使ったものができてますし。連絡をせずに来られてないっていう保護者さんに対してその確認っていうのは実際問題してないのではないかと思います。

弁当については、こども園も一緒ですけども、クーラーがきいている部屋に置いてあるっていう状況で、冷蔵庫に入れてっていうようなことまではしてないと思います。

○住民 分かりました。ありがとうございます。以上です。

○米田教育民生常任委員会委員長 要望としてはですね、しっかりします。

○住民 保冷库であるとか、そういうものができんかなだとか、設備分野の要望はあります。

○磯江副議長 時間が少し来ておりますので今の3常任委員会以外でも皆さんのほうからご意見とか質問とかいろいろあったら、同時にしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

## (2) 意見交換会について(議会、行政に対する意見、提言)

○浜中議会運営委員会委員長 すいません。いろいろと大変貴重なご意見をありがとうございました。それでは意見交換会に移ってまいりたいと思います。

議会、行政に対するご意見、提言等何でも結構でございます。また先ほどの報告についてもまだまだという方があればお受けいたしますのでご遠慮なく発言していただければと思います。挙手の上、よろしくお願いします。

○住民 失礼します。園区の〇〇です、よろしくお願いします。今、浜中議員さんから何でもっていうことでしたので、何でも申し上げたいと思いますけれども、まず本日のこの流れを見ますと、湯梨浜町議会の概要については後で見てくださって言われるかなと。どうも説明がないみたいですね。はい。それでは一つちょっと見つけましたのでお尋ねします。

お配りいただいております概要のですね、一番最後のページになりますか、8ページをご覧くださいませでしょうか。8ページです。10、11、12と括弧であります。それで11のですね、委員会の開催状況で、月例報告会っていうのが下から4番目にあります。これは一度も議会のない月の第2水曜日には開かれてないと理解できるんですが、この1年間、執行部からのいわゆる報告というものは全くなかったんでしょうか、すぐ答えができると思いますのでこれを初めに申し上げたいと思います。どうでしょう。

○浜中議会運営委員会委員長 僕から答えさせていただきます。月例報告会については、臨時議会とか定例会とかって議会のある月があります。この令和4年度とコロナの影響でコロナ対策の補助金だとかってありまして、毎月のように臨時議会がありました。臨時議会、定例会があるときは、月例報告会を行わないということになっておりまして、それで例年ですとこんな毎月臨時議会があることはなかったんで、月例報告会もはさんでおりましたけど、令和4年については毎月のように臨時議会があったので、月例報告会がなかったということでもあります。

○住民 それでは書いてあるとおり、もう全くなかったということですね。なかったら私がこの担当でしたら、ゼロっていう数字を上げたいんですけども、何かここに数字が書き忘れたのか、あるいはあったけどもちょっとうっかりしてたのか。今、浜中議員からなかったということです。そうしますとですね、令和4年もたくさんの大きな事業や懸案事項や過疎問題、後から触れますけどありました。そういうような月例報告会は定例会とか臨時会がないためになって理解できますけれども、執行部はいかにして議員さん方には伝達あるいは把握してもらうように報告をしておられるんでしょうか。いいですよ報告がなくても、だけど全く1年間何も執行部と議会との意思疎通がなされなかったということは私はあり得ると思うんですね。だからそれに代わる何かがありましたっていう報告が欲しかったんですがいかがでしょう。

○浜中議会運営委員会委員長 月例報告会はそういったことに対応しながらやっておりますけど、普段の定例会なんかでも全員協議会というのはもちまして、その定例会のうちにやるとか全然関係ないときに全員協議会だけで集まることもありました。そういったことに対応しております。コロナのときは再々ありました。ちょっと数を覚えとらんですけど。今、大きな問題というのがこの中学校の跡地問題であるとかちょっと前に今も進行中でありますけど東郷の上町団地の新築だとかレークサイドヴィレッジのほうの浅津と長江の近くですね。あそこら辺の団地の造成だとか、そういったことに対応しております。

○住民 はい。要するに執行部から情報が何らかの方法で流れたと理解したらいいと思いますね。その中でですね、これ2番目の質問ですが、昨年令和4年の3月議会に大きな問題が起きました。過疎地域の持続的発展計画に関わる議員さんからの一般質問ですが、結局東郷地域が4月から、昨年の話ですよ。4月から過疎地域に指定された、追加指定されるという大きなことが私たちを驚かせたわけですが、結局そのときの一般質問の答弁の中にですね、町長は集落に出向いて意見交換会をするんだというようなことで軽く言われたのが議会だより載ってたんです。これは非常に重要な意見交換だなと思ったんですね。

それでなぜかと言うとですね、湯梨浜町皆さん方ご存じのように75の集落、75の区長さんって言ったほうが早いですが、あるんですが、その中で東郷地域が38、半分を超える38の集落があるんです。次に羽合地域が23、泊が14と、この数字を頭に入れたいただきますと、湯梨浜町のその旧町村、いわゆる東郷町、東郷地域で38の集落のうちに初めてこれは町長が議会で発した言葉だと思うんですけど



も、限界集落が五つあると、ご存じだと思いますね3月議会の報告になっております。

東郷地域に五つの集落が限界集落だと、泊が二つあると羽合は一つあると、こういう言い方をされた上で、集落に出向いて、皆さん方の意見を交換したいという言い方をされたんです。

そのままこの議会だよりを読ませていただきますとね、何かその限界集落の後にこういう答えがあれば、東郷の五つの限界集落に出向いて意見交換するという考えを持っていると読めるんです。その議員さんもその誘導姿勢はどうなのかというような強く求めたんですが、いやそれは一般的には意見交換をしますからってということだったんですが、どの「広報ゆりはま」見ても「議会だより」を見ても、9月議会まではこのことには全く触れられている項目はありませんでした。

しかし、それはちょっと重大なことで何かおかしいなとは思いましたが今日はこういう意見交換会の場を持たせていただきましたので発言させてもらいますけれども、9月議会のときにですね、去年ですよ。そのときに、実は過疎地域の持続的発展計画の一部変更になりましたということが1ページを賑わしてたくさん書いてありました。けれども、その中には町長とか執行部行政ですね、まちづくり企画課になるんですが、その集落に向けての説明会とか、あるいは意見交換会がどうなったのかということが全く議会だよりには書いてありません。しかもですね、持続的発展計画を支える策定委員会が現在12人が9人増えて21人の方が策定委員会のメンバーで名を連ねていると思います。12人が21人ですね。それは東郷地域が過疎指定になったということは明らかでありますけど、なぜ議会だよりにこういうような経緯で町長の答弁があったけれども、実際には私はこれを読んだ段階で意見交換会をしてないなともっと悪く言えば町長が思いつきでそう言ったんじゃないかと、集落に全く出向いてないんじゃないかと、そういうことがうかがえるようなのが、9月議会定例会の議会だよりの掲載にあったんです。しかもですね、その策定委員会の動きというものも全く読めません。どのようにしてこれが可決になったのかということですね。だって策定委員会ってというのはそういうような調査とか検討をして、町長に意見を申し述べることはできるということで要綱に書いてあるんです。そうすると、なぜこれが一言引かかる項目ですね、実は持続的いわゆる発展計画を一部こう変更になりましたと、結果だけがなぜ書いてあるのかと、なぜ議員さんは広報委員会の方でも、いやちょっとこれまずいじゃないかと町長は出向いて意見交換会するということは全く書いてないと、

おまけに策定委員会の意見も入ってないと、こういうふうに変わりました、それだけだったんです。非常にこれは議員さんのほうの常任委員会のほうでどういう会合がなされたのかということが知りたかったんですが、残念ながらページをはぐってもそれは書いてありませんでした。ただ、町民の皆さんには、東郷地域が去年の4月から過疎地域になりましたと。ついては、いわゆる計画が変更になりましたので、町長はこう言われたんだが、実際には執行部を通さずに議会の了解を得て可決になりましたっというようなことですね、具体的になぜ書かれなかったのか、その辺で説明がちょっと私も十分じゃなかったかもしれませんが、この去年の9月定例会の議会だよりの掲載を見て非常に残念に思ったんですね。どういう経過でそういうような記事になったのか、あるいは本当に意見交換会は全くなされなかったのか。策定委員会を9人増やして12人が21人になったのに、どういような委員会の委員さんが発言されたのか、私これは泊は平成2年から今年はもう33年になるんですから、過疎地域をある程度マンネリ化してる人もあるかもしれないし、過疎っていうのはどこの言葉っていうようなこともあるかもしれません。だけど今回東郷地域になったことに対しては非常に重たく考えております。一番湯梨浜町で多い集落だからこそです。

以上で私はお聞きしたいことは。中森委員さんがいいでしょうかね、委員長さんのほう議会だよりの掲載にも関わりますのでね。ちょっと簡潔にご回答いただけましたらありがたいです。

○中森議会広報常任委員会委員長 内容のことについて先に議長にちょっと答えてもらってはいい。

○河田議長 ご指摘のとおりでございまして、細かい報告説明というのを私どもも受けてない状態です。今の発言をですね、持ち帰りまして、改めて執行部の方に確認問いただしたいという思いで今お話を聞かせていただきました。

議員の皆さんで何か。

○松岡総務産業常任委員会委員長 町長が各集落に出向いて集落の状況聞き取りをするということはですね、いろいろ議会とのやり取りの中で一般質問の中で町長は言っておられます。前の議会でも具体的には水道関係のことでお尋ねしたんですけども、その水道関係で話をしたときにその集落に行っていなかったと、その集落に確認していなかったという答弁がありまして、これからそういうことがないように各集落に出向いていろいろ情報収集をしますということは、町長も答弁の中で言っとられた。

○住民 ありがとうございます。

何か思いつきの答弁で、その場に議会の議員さんのほうでやりますよっちゅうところを見せた雰囲気の答弁のようにも聞こえるんですね。

だって、五つの限界集落というのは、今まで町長の過去の歴史の中で限界集落という言葉が使われたのは今回初めてだと思うんです。過去にですね、議員さんが、町長湯梨浜町は限界集落っていうことに今後人口が少なくなるし、なくならんか、そういうことあらへんかな。いや、全く湯梨浜町は、限界集落という自治体にはなりませんとはっきり議会だよりも書いてあるんです。だから今回、湯梨浜町でも東郷地域は五つが限界集落になったよ、泊は二つあるんだよ。そして羽合も一つあるんだよということを前置きしておられるから、だから今、松岡議員ね、集落ってというのがもしかしたら限界集落に行って説明するのかなとも読めるんです。そうじゃないですよと中央公民館でも話して、東郷地域の人には一応説明するっていうことがもし本当であれば、そういう時間って作れると思うんですね。だからそういうことが、泊はなぜそういうようなことを言うんかということ、泊がさっき申し上げた平成2年で今年は33年にもなりますと申し上げたのは、平成27年に部落でそういう説明があったんです。それで皆さん方どう思われますかということだね、今、まちづくり企画課ですけど、当時は企画の人が説明して、皆さん方に納得してもらって意見を皆さん方から忌憚のない意見を申し上げた。そういうような機会があったから、今回もそうされるんだと読めるのは当然じゃないでしょうか。それで泊がそういう過疎指定になってるんだけど、今後新たに東郷地域がいわゆる追加としてなったんで、それを合わせてもう一度考えて説明をするというのが議会だよりも載ってるから、9月号に書いてある一部変更されましたっていう言い方を他人ごとの書き方じゃないかと今、河田議長言われたんでそのあとは続けませんけども、もう少し町長が言われたことをですね、議会は紙面の都合もあるんだろうけども、追及質問ということで、このことを言って欲しかったっていうような、胸がときめくような質問をしていただいて、回答をもらいたい。なんかこれでもう終わったのっていうところがやっぱり節々にあるんじゃないかと、どなたの議員とは言いませんけれども、そういうところをやっぱり執行部も含めて追及するのが議員さんの役割じゃないかと思います。

それから時間があまりありませんのでもう一点申し上げますね。いわゆる特定空き家の件です。今日は、私は自分の住んでいるところの周りにそういう特定空き家があるんで申し上げるんですけども、誰もが自分の周りに特定空き家、危険家屋があれば黙っておれない状況だと思うんですけども、私の周りには、これは言っていないかど

うか分からんですけど、建設水道課と書いてある三角コーンが壊れた状態で五つあります。これは私は念のために写真撮っておりますので、いつ撮影されたものかも分かります。そこは非常に危険な家屋で、建設水道課がされたものですが、途中でいけない、見に来ないんです。現場に来られてこれはコーンを取り替えんといけんわとか、そういうことがされないから私は何かしらのロープでくくっております。明日でも見に来てもらったらその状況がよく分かります。その町道に面したところに危険家屋、あるいは子どもたちが中に入ったら危ない。もしかして一番最悪の場合は火が出たら瞬く間にすぐ燃えます。なぜかといったら、その家の中は雑木、いわゆる木が生い茂って雑木林になってるんです。それを見るに見かねて道路に出た分を私は1年に数回刈っておりますけれども、今回ばかりはその三角コーンが壊れたのを何とかしてほしいということでそれを申し上げておきます。町長の答弁はですね、はい指導します、はい勧告です、ていうようなことを命令ですと言っられる。それで一番気になるのはですね、とにかく本格的に進めたいとかですね、いわゆる調査をしていると言いますが、そういう危険家屋の台帳ですね。現地に来なくて机上でどうやって調査するかということです。来てないってことがはっきりしてるんじゃないですか。現に三角コーンを明日でも見に来られたらよく分かります。とても無残な姿です。五つありますけど。それを何とかそういう皆さんがその引っかかりにならないように、子どもたちが邪魔にならんように、もしくはそこを物珍しげに子どもたちが望んで、もしかしたら事故でも起きたらいけないと。やっぱり通学路でないんだけど子どもについては通ります。なぜかと言ったら、あんまりにも面白い家屋状態だから珍しがって通るんですね。だから最近は空き家対策といってですね、移住定住のほうの空き家ですが、今私が申し上げたのは危険家屋のほうの空き家ですので、議員さんのほうもこれに力を入れてね、何とかしてくださいと言っておられるんですけども、やはり答えは一緒ですね、調査しております。数字はこれだけになっております。分かっております。だからこれからとにかく明日にでも言ってほしいのは、現地にとにかく行って見て調査をしてほしいと、こういう困っておられる人の意見があったと。コーンも壊れてるみたいだと、近所の人があるコーンをロープで縛って動かんようになるとなるらしいですよとか、そういうことを議員さんを通じて申し上げていただきたいと思います。以上です。

○河田議長 貴重なご意見、ありがとうございます。私たちも初めて聞くような話もございまして、明日ですね、私の方からちょっと担当課の方に行って、意見交換会

でこういう意見が出たのですぐ現地を確認してほしいという旨を伝えたいと思いますのでよろしくご了解をいただきたいと思います。

○住民 よろしくをお願いします。ありがとうございました。

○浜中議会運営委員会委員長 時間も押してまいりましたけど最後に何かございましたら、よろしくをお願いします。

○住民 皆さん方がもしかしたら驚かれるようなことを言うかもしれませんが、そういう意見もあるんだなということでお聞きいただきたいんですが、本日配っていただいた「ふれあい意見交換会」ですね。これですね、令和5年度第9回と書いてあります。これは第9回というのは持ち越しの回数となっているんですね。この第9回ってというのは実は令和3年度なんです。令和3年度に第9回があったんだけどコロナで中止になりましたと。続いて第10回は令和4年、去年ですね、これもコロナで中止になったということで9回、10回というものを結局持ち越し回数として、令和5年度は第9回になってるんですけども、これが連続の番号でいくと、令和5年度は11回になるんです。それで11回ってした方が、後世に残すときに、あれ、令和3年度、4年度が飛んでるぞと必ずこういうときが来ると思うんですね。その頃にコロナのことを皆さん方が頭の中に覚えておれば3年度、4年は中止になったけないだやということになるんです。ところが、繰越回数を使用せずに令和3年、令和4年、令和5年と1列に書いた場合に、令和3年がいわゆる第9回だけでもこれはコロナで中止、令和4年度もこれも10回目だけどコロナで中止、それで令和5年度に3年ぶりにできて、第11回と、こういうような方法が私は考えがあるんじゃないかと、いいんじゃないかと。それを今日は別に結論はいりませんけれども、もし〇〇がこんなこと言ったってということが片隅にあればですね、なぜそんなこと言ったんだろうということを必ず言われると思うんです。それは、今、全国的に有名になりました、湯梨浜町と倉吉市を中心とした日本海駅伝と倉吉女子駅伝が、この繰り越し回数を残してないんです。例えば、第1回の日本海駅伝がコロナで中止になったら、次の年は第1回としないんです。これは浜中議員よくご存じだと思うんですけど、第2回になるんです。実施してないのに。だから1回、2回がコロナで中止になった場合は1回っていうものを持ってこないんです。第3回にするんです。そうすると、そういうような議会の回数がもし歴史上残ればですね、あれ、そうかそうか。令和3年と令和4年度はコロナで9回、10回がなかったんだなっていうことで、すんなり令和5年度が11回になるというような考えもあるんじゃないかと思います。

ちなみに、もし日本海駅伝そんなことないって言われることがありましたら、今年10月に行われました。これもずっと過去の2回を飛んで3年ぶりにやった回数が引き継がれております。それは余談ですけど。浜中議員が一番ご存じじゃないかと思えますけれども、ちなみに日本海新聞の主催でやっとならね、今申し上げたいと思います。ちょっと驚いたと思うんですけども、正確には回数でいけば令和5年度が11回であるということをちょっと申し上げてですね。これを採用するかせんかは別に今日回答は結構です。以上です。

○浜中議会運営委員会委員長 ありがとうございます。いろいろ個人的にですけど、いろんなスポーツ大会とか大体やらなかった分も含めて、何か第何回とか、各大会はね、そういったことになっておりますけど実際議会の報告会はこれ考えたときにね、2回飛んどるわけですけど、実際やった回数でいいじゃないかというような判断をして、第9回とこれまで9回目ですよってというのが分かりやすいのかなという感じがして今回こうなったんですけど、また議論していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

その他皆さんの方で何かございますか。よろしいですか。もっと言い足りないというような顔をしておられる人もおるようですけど、〇〇さんどうですか。

○住民 図面とか内容が専門過ぎて、多分家に帰って読んでも理解できん。おおよその、やり方とかがもうちょっと具体的に誰でも分かるような形に。こういう工法でこうするって言っても、多分僕らが聞いて説明するときでも多分できないんで何か他に方法があれば。

○住民 少なくなってきたら、こちら辺にあってパワーポイントの方にテキストベースでなくてやっぱり動画ね。

○浜中議会運営委員会委員長 工事の関係は多分専門の人でもぱっと見て分かれればいいんですけど、なかなか。専門の人、のり面の工事の専門の人おられるんで、よう言いませんけど僕も。専門用語がたくさん出てくるんでね。そういったところは気をつけて今後いければなと思います。

その他ございましたら、皆さんのほうで。そうしますと、ないようですので、時間も過ぎてまいりました、最初に申し上げましたが裏の方に用紙が記入してございます。出口の回収ボックスに入れられて帰ってもよろしいですし、後日議会事務局の方へ届けていただければ、また議会の方で検討して回答をさせていただければと思っております。その他、途中でも言いましたけど意見交換会の実施要項というものも作って

おります。各種団体、各部落で、区長さんの名前で申し込んで、意見交換会したいよ  
というようなことがあれば、そういったことも対応できますのでどうぞよろしくお願い  
します。

本日は長時間にわたりまして貴重なご意見をいただきました。大変有意義な意見交  
換会になったと感じております。最後に磯江副議長の方が閉会のご挨拶を申し上げた  
と思います。

○磯江副議長 皆さん今晚は非常に貴重なご意見、あるいは我々議員に対する示唆も  
いただきまして本当にありがとうございました。今、全国1,718だと思えますけど  
も、全国自治体がございます。全国の自治体が本当に大きな問題を抱えております。  
その一つが、議員のなり手が少ないということ、若者が少ない、そして女性が少ない  
ということでこれらの問題は議会に対して、今日のような多様なご意見を直接受け取  
る側の議員を、もう少し幅広い形にしなければならぬという全国の自治体が悩んでい  
るところでございます。

広報委員長の方からもちょっと説明ありましたが、町田市と東村山市に行って  
きましたけども、女性がやはり過半数になってるんですね。そういうところの人たち  
いろいろな話すと、多様な意見いろんな意見が出てきます。我々、湯梨浜もやっぱり  
もう少し若者が出てそして女性が増えてというような議会作りに、今後努力してまい  
りたいと思っております。今年齢が70を超えている人が、半分おられるかな議員  
で。ですからそういう意味でも女性も若者も出て、いろんな意見が自由に出るような  
環境作りっていうのを今後こういったふれあい会議も含めながらしていきたいと思  
います。

本日は貴重な意見いただきまして本当にありがとうございました。

○浜中議会運営委員会委員長 どうもありがとうございました。